
現代神魔伝

水城空

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

現代神魔伝

【コード】

N0058M

【作者名】

水城空

【あらすじ】

神という名の存在である“俺”はついに探していた相手を見つける。

「あたり、よくわかったね。僕が悪魔だよ」

そう笑った彼は

【プロローグ 彼の独白】

これは友情か

それとも愛情か

これは地上に落とされた悪魔と、契約した神の物語

。

【プロローグ 彼の独白】

唐突な話をするが、俺は神だ。

あ、いや、某死神ノートを持っている青年のように「神になるぜ！」みたいな事が言いたいのではなく、ただ単純に生まれつきだ。そういう運命というか使命というか。

言っておくが、俺が住んでいるところは地球だ。ゴッドワールドとかではない。

人間として生きている、普通の高校生。

両親も双子の可愛い妹もいる。

え？家族は神ではない。家系とか、一族とか関係ないんだよな。

神という存在の俺個人が、たまたま日本の志筑しじく亜南都あなみという人間として地上に降り立っただけの話。

地上に降りてきたのは、まあ訳ありで。

先程述べた通り、使命である。

ぶっちゃけると、神がいれば悪魔がいるんだよな。で、そいつらが悪さしないように見張るってわけ。

「っか、心霊現象がなかなか起きないと同様に悪魔だってそんなに悪さはしない。

奴らだって、人間に混じって地上にいるらしいし。

神としての使命をこなしつつ、普通の人間として行きていけばいい。

勿論年だって取るし、いずれは死ぬ。

悪魔を撃退する能力を持っている位で、後は何も変わらない。

あーつまり、何が言いたいかって？

俺はこの人生で16年生きているけど、一回も悪魔に会ってないんだよ。

別に会いたいわけではない、っか出来れば会わずにこの人生終えたい。

だけどな、前世…つまり前の人生で俺と契約した悪魔がいるんだ。結構昔の話だが、その契約は今でも続いている。

良く覚えていないが、その悪魔は神の難しい仕事…というか辛い仕事を引き受けたんだよな。命を助けられたとかいう礼で。

そんな重要な契約しておいて忘れんなよ、と言われそうだが前世の事なんか覚えてるわけねーだろ普通。

神は人間としての人生を終えるごとに記憶を消す。

次に生れた時、余計な感傷をしなくて済むようにだ。

しかし神と言うことは覚えている、そして自分の使命も。

今まで何人か、他の神にも会った。

街中ですれ違つてたまたま気づくというレベルだ。

学校や身近な場所では、会った事がない。

会いたいとも思わないが。

…話を戻そう。

悪魔との契約だが、その悪魔を見張る役割も俺にはあるわけだ。

契約違反とか見逃さない為にな。

だが、一向に現れない。その悪魔。

まあ、確かに俺の家庭は父親の仕事の都合とかで全国転々としてたけどな。

多分原因それだけだな。

中学の時、やっとこの地方に落ち着いた。

時期的にはそろそろであろうと思っていんだがな。

現れねーよ、マジで。

とっくに冬越しちまったわ。

高校生になっちまうよ、もうすぐで。

あー、もう明日は入学式だし。

どうすんだよ、ったく。

とりあえず、今だ現れない悪魔に対して溜息をついておく。

【プロローグ 彼の独白】 - E N D -

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0058m/>

現代神魔伝

2010年10月9日21時47分発行